Systemwalker

FUJITSU

Systemwalker Desktop Keeper V13.3.0

正誤表

Windows

B1WD-2702-01Z0(00)
2009年1月

まえがき

本書の目的

本書は、Systemwalker Desktop Keeper　V13.3.0のマニュアル修正箇所を記載しています。
マニュアル別に修正内容を記載し、修正箇所は青字で示しています。

平成21年 1月

改版履歴
平成21年 1月 初版　B1WD-2702-01Z0(00)

マニュアル一覧

マニュアル名称
Systemwalker Desktop Keeper　導入ガイド
Systemwalker Desktop Keeper　運用ガイド　管理者編
Systemwalker Desktop Keeper　運用ガイド　クライアント編
Systemwalker Desktop Keeper　リファレンスマニュアル

導入ガイド

◆ 修正一覧

修正	修正箇所	訂正内容	最寄りの見出し
1	2.2.1 動作OS	Windows Server(R) 2008に関して、動作OS表記を訂正	■管理サーバ・統合管理サーバ ■管理コンソール ■ログビューア
2	3.1 導入に関する留意事項	Windows Server(R) 2008を追加	■クライアント(CT)
3	3.2.3 構成情報の作成方法を決定する	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正	◆Active Directory連携実行時のツリーイメージ
4	3.2.3.1 Active Directoryと連携する	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正	―
5	4.4 サーバの環境を設定する	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正	◆導入時設定
6	4.4.3 Active Directory連携の設定を行う	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正	―
7	4.7.1.1 ウィザード形式でインストールする	Windows Server(R) 2008を追加	メール添付抑止の方式設定時の注意点について
8	4.7.1.2 サイレントインストールを実施する	Windows Server(R) 2008を追加	■インストール設定ファイルを作成する
9	4.7.1.2 サイレントインストールを実施する	Windows Server(R) 2008を追加	■サイレントインストールを行う
10	6.2.1 ウィザード形式でアンインストールする	Windows Server(R) 2008を追加	Windows Vista(R) 以降の場合、再起動時にエラーメッセージが出力される場合があります
11	7.8 CTをバージョンアップする	Windows Server(R) 2008を追加	■ウィザード形式でバージョンアップする
12	7.8 CTをバージョンアップする	Windows Server(R) 2008を追加	BEV12.0L10以外からのバージョンアップの場合
13	8.6 CTをエディションアップする	Windows Server(R) 2008を追加	■ウィザード形式でエディションアップする

◆ 修正No.1

修正箇所	2.2.1 動作OS
訂正内容	Windows Server(R) 2008に関して、動作OS表記を訂正

旧記事

■管理サーバ・統合管理サーバ

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008, Standard Edition (注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008, Enterprise Edition (注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper-V(TM) (注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM) (注3)

注3) Server Coreは使用できません。

■管理コンソール

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008, Standard Edition (注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008, Enterprise Edition (注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper-V(TM) (注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM) (注3)

注3) Server Coreは使用できません。

■ログビューア

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008, Standard Edition (注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008, Enterprise Edition (注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper-V(TM) (注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM) (注3)

注3) Server Coreは使用できません。

新記事

■管理サーバ・統合管理サーバ

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard x64 Edition (注2)(注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise x64 Edition (注2)(注3)

注2) x64 Editionは、32bit互換モードで動作します。
注3) Server Coreの環境では動作しません。Hyper-Vの環境での動作は保障しません。

■管理コンソール

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard x64 Edition (注2)(注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise x64 Edition (注2)(注3)

注2) x64 Editionは、32bit互換モードで動作します。

注3）Server Coreの環境では動作しません。Hyper-Vの環境での動作は保障しません。

■ログビューア

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard x64 Edition (注2)(注3)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise x64 Edition (注2)(注3)

注2）x64 Editionは、32bit互換モードで動作します。
注3）Server Coreの環境では動作しません。Hyper-Vの環境での動作は保障しません。

◆ 修正No.2

修正箇所	3.1 導入に関する留意事項
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

■クライアント(CT)

- クライアント(CT)のOSがWindows VistaでUACで権限昇格を許可し操作を続行した場合、以下のログが採取できません。

新記事

■クライアント(CT)

- クライアント(CT)のOSがWindows Vista(R)またはWindows Server 2008(R)でUACで権限昇格を許可し操作を続行した場合、以下のログが採取できません。

◆ 修正No.3

修正箇所	3.2.3 構成情報の作成方法を決定する
訂正内容	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正

旧記事

◆Active Directory連携実行時のツリーイメージ

新記事

[SE]

◆Active Directory連携実行時のツリーイメージ

◆ 修正No.4

修正箇所	3.2.3.1 Active Directoryと連携する
訂正内容	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正

旧記事

3.2.3.1 Active Directoryと連携する

新記事

[SE]

3.2.3.1 Active Directoryと連携する

◆ 修正No.5

修正箇所	4.4 サーバの環境を設定する
訂正内容	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正

旧記事

◆導入時設定

管理サーバ、統合管理サーバの初期環境構築時に設定する機能です。

- システム設定
- Active Directory連携設定
- サーバ情報設定

新記事

◆導入時設定

管理サーバ、統合管理サーバの初期環境構築時に設定する機能です。

- システム設定

[SE]

- Active Directory連携設定

- サーバ情報設定

◆ 修正No.6

修正箇所	4.4.3 Active Directory連携の設定を行う
訂正内容	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正

旧記事

4.4.3 Active Directory連携の設定を行う

新記事

[SE]

4.4.3 Active Directory連携の設定を行う

◆ 修正No.7

修正箇所	4.7.1.1 ウィザード形式でインストールする
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

メール添付抑止の方式設定時の注意点について

【Windows Vista(R)の場合】
Windows Vista(R)の場合、メール添付抑止の方式は、ポート監視方式しか選択できません。

新記事

メール添付抑止の方式設定時の注意点について

【Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合】
Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合、メール添付抑止の方式は、ポート監視方式しか選択できません。

◆ 修正No.8

修正箇所	4.7.1.2 サイレントインストールを実施する
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

■インストール設定ファイルを作成する

(中略)

クライアント(CT)を以下のOSインストールする場合は、動作に注意してください。

- Microsoft(R) Windows Vista(R) Home Basic、
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Home Premium、
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Business、
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise、
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate
- Microsoft(R) Windows(R) XP Professional(ServicePack2)
- Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition(ServicePack2)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition(ServicePack1)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition(ServicePack2)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition(ServicePack1)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition(ServicePack2)

新記事

■インストール設定ファイルを作成する

(中略)

クライアント(CT)を以下のOSインストールする場合は、動作に注意してください。

- Microsoft(R) Windows Vista(R) Home Basic、
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Home Premium、
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Business、
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise、
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate
- Microsoft(R) Windows(R) XP Professional(ServicePack2)
- Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition(ServicePack2)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition(ServicePack1)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition(ServicePack2)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition(ServicePack1)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition(ServicePack2)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008, Standard Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008, Enterprise Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper-V(TM)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM)

◆ 修正No.9

修正箇所	4.7.1.2 サイレントインストールを実施する
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

■サイレントインストールを行う

注意 Windows Vista(R)での実行について

Windows Vista(R)で本コマンドを実行する場合、管理者として実行したコマンドプロンプト上で本コマンドを実行してください。

新記事

■サイレントインストールを行う

注意 Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008での実行について

Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008で本コマンドを実行する場合、管理者として実行したコマンドプロンプト上で本コマンドを実行してください。

◆ 修正No.10

修正箇所	6.2.1 ウィザード形式でアンインストールする
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

注意 Windows Vista(R)以降の場合、再起動時にエラーメッセージが出力される場合があります

Windows Vista(R)以降では、アンインストール後の再起動時に、以下のメッセージが出力される場合があります。アンインストールは正常に行われていますので、操作を続行して下さい。

新記事

注意 Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008以降の場合、再起動時にエラーメッセージが出力される場合があります

Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008以降では、アンインストール後の再起動時に、以下のメッセージが出力される場合があります。アンインストールは正常に行われていますので、操作を続行して下さい。

◆ 修正No.11

修正箇所	7.8 CTをバージョンアップする
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

■ウィザード形式でバージョンアップする

注意　メール添付抑止の方式設定時の注意点について

【Windows Vista(R)の場合】
Windows Vista(R)の場合、メール添付抑止の方式は、ポート監視方式しか選択できません。

新記事

■ウィザード形式でバージョンアップする

注意　メール添付抑止の方式設定時の注意点について

【Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合】
Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合、メール添付抑止の方式は、ポート監視方式しか選択できません。

◆ 修正No.12

修正箇所	7.8 CTをバージョンアップする
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

BEV12.0L10以外からのバージョンアップの場合

注意 Windows Vista(R)の場合、再起動確認画面が表示されない場合があります

動作OSがWindows Vista(R)で、V13.2.0/V13.2.1のクライアント(CT)がインストールされている環境の自己版数アップを実施する場合、「再起動確認画面を表示する」をチェックしていた場合でも再起動の確認画面が表示されないことがあります。再起動確認画面は表示されませんが、インストール処理は完了していますので、そのPCが再起動されたタイミングで版数アップが有効になります。なお、V13.3.0のCTの場合は本現象は発生しません。

新記事

BEV12.0L10以外からのバージョンアップの場合

注意 Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合、再起動確認画面が表示されない場合があります

動作OSがWindows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008で、V13.2.0/V13.2.1のクライアント(CT)がインストールされている環境の自己版数アップを実施する場合、「再起動確認画面を表示する」をチェックしていた場合でも再起動の確認画面が表示されないことがあります。再起動確認画面は表示されませんが、インストール処理は完了していますので、そのPCが再起動されたタイミングで版数アップが有効になります。なお、V13.3.0のCTの場合は本現象は発生しません。

◆ 修正No.13

修正箇所	8.6 CTをエディションアップする
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

メール添付抑止の方式設定時の注意点について

【Windows Vista(R)の場合】
Windows Vista(R)の場合、メール添付抑止の方式は、ポート監視方式しか選択できません。

新記事

メール添付抑止の方式設定時の注意点について

【Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合】
Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合、メール添付抑止の方式は、ポート監視方式しか選択できません。

運用ガイド　管理者編

◆ 修正一覧

修正	修正箇所	訂正内容	最寄りの見出し
1	1.2 機能に関する留意事項	クライアント(CT)が、ターミナルサービス、リモートデスクトップに対応する条件を追加	■機能全般
2	1.2 機能に関する留意事項	Windows Server(R) 2008を追加	■機能全般
3	1.2 機能に関する留意事項	Windows Server(R) 2008を追加	◆印刷抑止
4	1.2 機能に関する留意事項	Windows Server(R) 2008を追加	◆印刷操作ログ
5	1.2 機能に関する留意事項	Windows Server(R) 2008を追加	◆印刷操作ログ
6	1.2 機能に関する留意事項	Windows Server(R) 2008を追加	◆デバイス構成変更ログ
7	1.2 機能に関する留意事項	Windows Server(R) 2008を追加	◆ファイル操作ログ
8	1.2 機能に関する留意事項	ファイル操作ログ取得除外フォルダの設定は、Base Edition 、Standard Edition共通機能であると訂正	◆ファイル操作ログ
9	2.1.2 運用環境を整える流れ	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正	■Active Directoryから構成情報を取り込む場合
10	2.1.5.1 Active Directoryから情報を取り込む	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正	―
11	3.2.15 ファイル操作ログ	Windows Server(R) 2008を追加	■採取される操作ログ

◆ 修正No.1

修正箇所	1.2 機能に関する留意事項
訂正内容	クライアント(CT)が、ターミナルサービス、リモートデスクトップに対応する条件を追加

旧記事

■機能全般

- クライアント(CT)は、ターミナルサービス、リモートデスクトップ、TS Remote APPについては、対応していません。

新記事

■機能全般

- クライアント(CT)は、ターミナルサービス、リモートデスクトップ、TS Remote APPについては、対応していません。
  ただし、Citrix Presentation Server監視機能ではターミナルサービス、リモートデスクトップに対応しています。

◆ 修正No.2

修正箇所	1.2 機能に関する留意事項
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

■機能全般

- クライアント(CT)のOSがWindows Vista(R)で、コマンドプロンプトや持出しユーティリティを管理者として実行した場合、「要求されたリソースは使用中です」のメッセージが出力され、起動できない場合があります。この場合は、しばらくたってから起動するようにしてください。

新記事

■機能全般

- クライアント(CT)のOSがWindows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008で、コマンドプロンプトや持出しユーティリティを管理者として実行した場合、「要求されたリソースは使用中です」のメッセージが出力され、起動できない場合があります。この場合は、しばらくたってから起動するようにしてください。

◆ 修正No.3

修正箇所	1.2 機能に関する留意事項
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

◆印刷抑止

- Windows Vista(R)でUAC(ユーザアカウントコントロール)を無効化している場合、印刷抑止を行うことができません。また、エクスプローラの右クリックメニューの[印刷]はグレーアウトされません。

新記事

◆印刷抑止

- Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008でUAC(ユーザアカウントコントロール)を無効化している場合、印刷抑止を行うことができません。また、エクスプローラの右クリックメニューの[印刷]はグレーアウトされません。

◆ 修正No. 4

修正箇所	1.2 機能に関する留意事項
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

◆印刷操作ログ

- Windows Vista(R)でWindowsプリントサーバとして定義されているサーバに接続された共有プリンタから印刷を行う場合、Windows Vista(R)の名前解決がフルDNS名で解決されるよう設定されている必要があります。フルDNS名での名前解決ができない場合、印刷操作ログは取得されません。

新記事

◆印刷操作ログ

- Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008でWindowsプリントサーバとして定義されているサーバに接続された共有プリンタから印刷を行う場合、Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の名前解決がフルDNS名で解決されるよう設定されている必要があります。フルDNS名での名前解決ができない場合、印刷操作ログは取得されません。

◆ 修正No.5

修正箇所	1.2 機能に関する留意事項
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

◆印刷操作ログ

- Windows Vista(R)でWindowsプリントサーバとして定義されているサーバに接続された共有プリンタから印刷を行う場合、Windows Vista(R)側で定義されているネットワークプリンタのプロパティで、[クライアント コンピュータで印刷ジョブのレンダリングをする]がオンになっている場合、1回の印刷操作で2つのログが記録されるときがあります。2つのうち、1つのログは印刷を行ったPCの名前がプリントサーバの名前になります。

新記事

◆印刷操作ログ

- Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008でWindowsプリントサーバとして定義されているサーバに接続された共有プリンタから印刷を行う場合、Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008側で定義されているネットワークプリンタのプロパティで、[クライアント コンピュータで印刷ジョブのレンダリングをする]がオンになっている場合、1回の印刷操作で2つのログが記録されるときがあります。2つのうち、1つのログは印刷を行ったPCの名前がプリントサーバの名前になります。

◆ 修正No.6

修正箇所	1.2 機能に関する留意事項
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

◆デバイス構成変更ログ

Windows Vista(R)でUACが有効な場合、一般ユーザが管理者に昇格してネットワークドライブに接続したときのデバイス構成変更ログは採取されません。

新記事

◆デバイス構成変更ログ

Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008でUACが有効な場合、一般ユーザが管理者に昇格してネットワークドライブに接続したときのデバイス構成変更ログは採取されません。

◆ 修正No.7

修正箇所	1.2 機能に関する留意事項
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

◆ファイル操作ログ

OSがWindows Vista(R)でUACで権限昇格を許可し操作を続行した場合、アプリ名(ログビューアの[ログ一覧]の[内容]に表示されます)はアプリケーション名ではなく、「dllhost.exe」としてログが採取されます。

新記事

◆ファイル操作ログ

OSがWindows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008でUACで権限昇格を許可し操作を続行した場合、アプリ名(ログビューアの[ログ一覧]の[内容]に表示されます)はアプリケーション名ではなく、「dllhost.exe」としてログが採取されます。

◆ 修正No.8

修正箇所	1.2 機能に関する留意事項
訂正内容	ファイル操作ログ取得除外フォルダの設定は、Base Edition 、Standard Edition共通機能であると訂正

旧記事

◆ファイル操作ログ

[SE]

[ファイル操作ログ取得除外フォルダの設定]について

新記事

◆ファイル操作ログ

[ファイル操作ログ取得除外フォルダの設定]について

◆ 修正No.9

修正箇所	2.1.2 運用環境を整える流れ
訂正内容	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正

旧記事

■Active Directoryから構成情報を取り込む場合

新記事

[SE]

■Active Directoryから構成情報を取り込む場合

◆ 修正No.10

修正箇所	2.1.5.1 Active Directoryから情報を取り込む
訂正内容	Active Directory連携機能は、Standard Editionだけで使用可能であると訂正

旧記事

2.1.5.1 Active Directoryから情報を取り込む

新記事

[SE]

2.1.5.1 Active Directoryから情報を取り込む

◆ 修正No.11

修正箇所	3.2.15 ファイル操作ログ
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

■採取される操作ログ

注意　以下のソフトウェア・コマンドについて説明します。

以下のソフトウェアやコマンドの場合、操作ログは、後述する表のように採取されます。
- エクスプローラ

（中略）

注）Windows Vista(R)の場合は、2003、2007だけサポートしています。

新記事

■採取される操作ログ

注意　以下のソフトウェア・コマンドについて説明します。

以下のソフトウェアやコマンドの場合、操作ログは、後述する表のように採取されます。
- エクスプローラ

（中略）

注）Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合は、2003、2007だけサポートしています。

運用ガイド　クライアント編

◆ 修正一覧

修正	修正箇所	訂正内容	最寄りの見出し
1	1.2.1 CD/DVDメディア以外へファイルを持ち出す	Windows Server(R) 2008を追加	―

◆ 修正No.1

修正箇所	1.2.1 CD/DVDメディア以外へファイルを持ち出す
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

注意　Windows Vista(R)での実行について

Windows Vista(R)で、持出しユーティリティ起動時に右クリックで[管理者として実行]した場合は、ドラッグ&ドロップはできません。

新記事

注意　Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008での実行について

Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008で、持出しユーティリティ起動時に右クリックで[管理者として実行]した場合は、ドラッグ&ドロップはできません。

リファレンスマニュアル

◆ 修正一覧

修正	修正箇所	訂正内容	最寄りの見出し
1	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I101-ERR103)のメッセージ、原因を修正	―
2	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I101-WRN001)のメッセージ、対処を修正	―
3	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I111-ERR004)の原因を修正	―
4	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I111-ERR005)の原因、対処を修正	―
5	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I111-ERR006)の原因、対処を修正	―
6	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I111-ERR016)を修正	―
7	3.1.3 DB環境構築・削除ツールで出力されるメッセージ	SYEN-ERR085を追加	―
8	3.1.3 DB環境構築・削除ツールで出力されるメッセージ	SYEN-WRN060を追加	―
9	3.1.4 サーバ設定ツールで出力されるメッセージ	STCI-ERR061のメッセージを修正	―
10	3.1.4 サーバ設定ツールで出力されるメッセージ	STCI-ERR153のメッセージ、原因、対処を修正	―
11	3.1.4 サーバ設定ツールで出力されるメッセージ	STCI-ERR154のメッセージ、原因、対処を修正	―
12	3.1.5 Active Directory連携コマンドで出力されるメッセージ	メッセージを追加	―
13	3.1.5 Active Directory連携コマンドで出力されるメッセージ	メッセージを追加	―
14	3.1.5 Active Directory連携コマンドで出力されるメッセージ	メッセージを追加	―
15	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ	DPCI-ERR035を追加	―
16	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ	DPCI-ERR036を追加	―
17	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ	DPCI-ERR037を追加	―
18	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマン	DPCI-ERR038を追加	―

修正	修正箇所	訂正内容	最寄りの見出し
	ドで出力されるメッセージ		
19	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ	DPCI-ERR040を追加	—
20	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ	DPSY-ERR047を追加	—
21	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ	DPSY-ERR048を追加	—
22	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ	DPSY-ERR049を追加	—
23	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ	DPSY-ERR050を追加	—
24	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ	DPSY-ERR097を追加	—
25	3.1.7 サーバサービスで出力されるメッセージ	SVCM-ERR003の可変情報と対処を修正	—
26	3.1.8 階層化サービスで出力されるメッセージ	LVCM-ERR002の可変情報と対処を修正	—
27	3.1.10.1 バックアップツールで出力されるメッセージ	BKSY-ERR003の対処を修正	—
28	3.1.10.1 バックアップツールで出力されるメッセージ	BKSY-ERR012のメッセージを修正	—
29	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ	メッセージを追加	■DTKCVDL
30	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ	BKCI-ERR053のメッセージの原因を修正	■DTKBFDM
31	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ	BKCI-ERR037のメッセージを修正	■DTKLG1T
32	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ	BKCI-ERR039のメッセージを修正	■DTKLG1T
33	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ	BKCI-ERR037のメッセージを修正	■DTKLGTB
34	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ	BKSY-ERR010のメッセージを追加	■DTKMSTB
35	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ	RSCI-ERR003のメッセージを修正	—
36	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ	RSCI-ERR014のメッセージを修正	—
37	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ	RSMN-SEL004のメッセージを修正	—
38	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ	RSSY-ERR003の対処を修正	—
39	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ	RSSY-ERR018の原因、対処を修正	—
40	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ	BKSY-ERR015を追加	—
41	3.1.11 情報表示・再構築ツールで出力されるメッセージ	SYME-ERR075の原因、対処を修正	—
42	3.1.11 情報表示・再構築ツールで出力されるメッセージ	SYME-WRN060の可変情報、原因、対処を修正	—
43	3.1.11 情報表示・再構築ツールで出力されるメッセージ	SYME-WRN055を追加	—

修正	修正箇所	訂正内容	最寄りの見出し
44	3.1.12.1 DB移行コマンドで出力されるメッセージ	DCCI-ERR105のメッセージを修正	—
45	3.1.12.2 データ移行コマンドで出力されるメッセージ	DCCI-ERR001のメッセージを修正	—
46	3.1.12.2 データ移行コマンドで出力されるメッセージ	DCCI-ERR002のメッセージを修正	—
47	3.1.12.2 データ移行コマンドで出力されるメッセージ	DCCI-ERR006のメッセージを修正	—
48	3.1.12.2 データ移行コマンドで出力されるメッセージ	DCCI-ERR015のメッセージを修正	—
49	3.1.12.2 データ移行コマンドで出力されるメッセージ	DCCI-ERR017を追加	—
50	3.1.13 イベントログに出力されるメッセージ	イベントID3009のメッセージを修正	—
51	3.2.1 インストール時に出力されるメッセージ	管理コンソールで出力されるメッセージ(I211-ERR004)の原因を修正	—
52	3.2.3 運用時に出力されるメッセージ	管理コンソールで出力されるメッセージ(MGCI-SEL006)の可変情報を修正	—
53	3.2.3 運用時に出力されるメッセージ	管理コンソールで出力されるメッセージ(MGCI-SEL007)の可変情報を修正	—
54	3.2.3 運用時に出力されるメッセージ	管理コンソールで出力されるメッセージ(MGCI-SEL009)のメッセージを修正	—
55	3.2.3 運用時に出力されるメッセージ	管理コンソールで出力されるメッセージ(MGPW-ERR008)のメッセージを修正	—
56	3.3.1 インストール時に出力されるメッセージ	ログビューアで出力されるメッセージ(I311-ERR001)のメッセージ、原因、対処を修正	—
57	3.3.1 インストール時に出力されるメッセージ	ログビューアで出力されるメッセージ(I311-ERR003)のメッセージ、原因、対処を修正	—
58	3.3.1 インストール時に出力されるメッセージ	ログビューアで出力されるメッセージ(I311-ERR004)の原因を修正	—
59	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ	ログビューアで出力されるメッセージ(LGCM-SEL003)の可変情報を修正	—
60	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ	ログビューアで出力されるメッセージ(LGDL-ERR004)の可変情報を修正	—
61	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ	ログビューアで出力されるメッセージ(LGPW-ERR008)のメッセージを修正	—
62	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ	ログビューアで出力されるメッセージ(LGCM-ERR020)を追加	—
63	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ	ログビューアで出力されるメッセージ(LGCM-INF003)を追加	—
64	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ	ログビューアで出力されるメッセージ(LGCM-INF004)を追加	—
65	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR004)の可変情報を修正	—

修正	修正箇所	訂正内容	最寄りの見出し
66	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR005)の可変情報を修正	—
67	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR103)の対処を修正	—
68	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I401-WRN001)を修正	—
69	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I411-ERR004)の原因を修正	—
70	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR117)を追加	—
71	3.4.2 アンインストール時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR103)を修正	—
72	3.4.2 アンインストール時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR105)を追加	—
73	3.4.2 アンインストール時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR106)を追加	—
74	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(S301-ERR002)を追加	—
75	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(S401-ERR002)を追加	—
76	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(D1F2-ERR001)を追加	—
77	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(D1F2-ERR002)を追加	—
78	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(D1F2-ERR003)を追加	—
79	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(D1F3-ERR001)を追加	—
80	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ	FCCD-ERR022のメッセージを修正	
81	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ	FCCD-INF003のメッセージを修正	
82	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ	FCCD-INF004のメッセージを修正	
83	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ	FCCM-INF002のメッセージと原因を修正	
84	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ	FCSB-ERR002のメッセージを修正	
85	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ	FCSB-ERR008のメッセージを修正	
86	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ	FCCA-ERR010を追加	—

修正	修正箇所	訂正内容	最寄りの見出し
87	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ	FCCD-ERR035を追加	―
88	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ	FCCM-INF004を追加	―
89	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR004)の可変情報を修正	―
90	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR005)の可変情報を修正	―
91	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR103)の対処を修正	―
92	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I411-ERR004)の原因を修正	―
93	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I401-WRN001)を追加	―
94	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I401-WRN002)を追加	―
95	3.5.2 アンインストール時に出力されるメッセージ	Citrix Presentation Server監視機能のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR103)を修正	―
96	3.5.2 アンインストール時に出力されるメッセージ	Citrix Presentation Server監視機能のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR105)を追加	―
97	3.5.2 アンインストール時に出力されるメッセージ	Citrix Presentation Server監視機能のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR106)を追加	―
98	第5章 管理コンソール/ログビューア使用時のエラー対処	Windows Server(R) 2008を追加	■サーバサービスエラー ◆データベースエラー
99	第5章 管理コンソール/ログビューア使用時のエラー対処	Windows Server(R) 2008を追加	■階層化サービスエラー ◆データベースエラー
100	6.2 管理コンソールトレースを採取する	Windows Server(R) 2008を追加	―
101	6.3 ログビューアトレースを採取する	Windows Server(R) 2008を追加	―
102	6.9 資料採取ツールを使用する	Windows Server(R) 2008を追加	―
103	6.9 資料採取ツールを使用する	Windows Server(R) 2008を追加	■管理サーバ上またはクライアント(CT)上で、コマンド(dtk_qss.exe)を実行する
104	6.9 資料採取ツールを使用する	Windows Server(R) 2008を追加	■管理サーバ上またはクライアント(CT)上で、コマンド(dtk_qss.exe)を実行する

◆ 修正No.1

修正箇所	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I101-ERR103)のメッセージ、原因を修正

旧記事

[I101-ERR103] モジュール更新設定ファイル(SWCTVerSettings.ini)の書き換えに失敗しました。
・ファイルが読み取り専用である
・該当ディスクが書き込み禁止であるなどの原因が考えられます。
インストール完了後、SWCTVerSettings.iniを修正してください。インストールを続行します。

[原因]
モジュール更新設定ファイルの書き換えに失敗しました。

[対処]
システムフォルダのSWCTVerSettings.iniファイルの中の[DistModuleDir]に、更新モジュールを置くフォルダのパスを記述してください。

新記事

[I101-ERR103] SWCTVerSettings.ini ファイルの書き換えに失敗しました。
・ファイルが読み取り専用である
・該当ディスクが書き込み禁止である
などの原因が考えられます。
インストール完了後、設定ファイルを修正してください。
インストールを続行します。

[原因]
SWCTVerSettings.ini ファイルの書き換えに失敗しました。

[対処]
システムフォルダのSWCTVerSettings.iniファイルの中の[DistModuleDir]に、更新モジュールを置くフォルダのパスを記述してください。

◆ 修正No.2

修正箇所	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I101-WRN001)のメッセージ、対処を修正

旧記事

[I101-WRN001] Symfoware ServerのV6.0L10が導入されています。Systemwalker Desktop Keeper サーバを正常動作させるために、Symfoware Server V6.0L10向けの緊急修正を適用してください。

[原因]

SymfoWAREのV6.0L10が導入されている端末にインストールしようとしました。

[対処]

SymfoWARE V6.0L10向けの緊急修正を適用してください。

新記事

[I101-WRN001] Symfoware ServerのV6.0L10が導入されています。

Systemwalker Desktop Keeper サーバを正常動作させるために、Symfoware Server V6.0L10向けの最新の緊急修正を適用してください。

[原因]

SymfowareのV6.0L10が導入されている端末にインストールしようとしました。

[対処]

Symfoware V6.0L10向けの最新の緊急修正を適用してください。

◆ 修正No.3

修正箇所	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I111-ERR004)の原因を修正

旧記事

[I111-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]
IPアドレスを入力せずに次の画面に進もうとしました。

[対処]
正しい書式のIPアドレスを入力してください。

新記事

[I111-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]
IPアドレスの書式が正しくありません。

[対処]
正しい書式のIPアドレスを入力してください。

◆ 修正No.4

修正箇所	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I111-ERR005)の原因、対処を修正

旧記事

［I111-ERR005］更新モジュールの格納先が正しくありません。正しい値を入力してください。

［原因］

更新モジュールの格納先を入力せずに次の画面に進もうとしました。

［対処］

更新モジュールの格納先を入力してください。

新記事

［I111-ERR005］更新モジュールの格納先が正しくありません。正しい値を入力してください。

［原因］

更新モジュールの格納先が正しくありません。

［対処］

正しい更新モジュールの格納先を入力してください。

◆ 修正No.5

修正箇所	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I111-ERR006)の原因、対処を修正

旧記事

[I111-ERR006] ログファイルの格納先が正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]

ログファイルの格納先を入力せずに次の画面に進もうとしました。

[対処]

ログファイルの格納先を入力してください。

新記事

[I111-ERR006] ログファイルの格納先が正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]

ログファイルの格納先が正しくありません。

[対処]

正しいログファイルの格納先を入力してください。

◆ 修正No.6

修正箇所	3.1.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理サーバ（統合管理サーバ）で出力されるメッセージ(I111-ERR016)を修正

旧記事

[I111-ERR016] データベース関連ファイル格納フォルダの指定が正しくありません。データベース関連ファイル格納フォルダのパスは以下の条件を満たす必要があります。
・ドライブのルートではない 空白文字を含まない
・全角文字を含まない パス長が10バイト以内である
・ネットワークドライブではない
・NTFSでフォーマットされている
正しい値を入力してください。

[原因]
データベース関連ファイル格納フォルダの指定が正しくありません。

[対処]
正しいパスを設定してください。

新記事

[I111-ERR016] データベース関連ファイル格納フォルダの指定が正しくありません。データベース関連ファイル格納フォルダのパスは以下の条件を満たす必要があります。
・ドライブのルートではない
・空白文字を含まない
・全角文字を含まない
・パス長が10バイト以内である
・ネットワークドライブではない
・NTFSでフォーマットされている
正しい値を入力してください。

[原因]
データベース関連ファイル格納フォルダの指定が正しくありません。

[対処]
正しいパスを設定してください。

◆ 修正No.7

修正箇所	3.1.3 DB環境構築・削除ツールで出力されるメッセージ
訂正内容	SYEN-ERR085を追加

旧記事

なし。

新記事

[SYEN-ERR085] 他のユーザがDB構築・削除ツールを起動しているため、この端末からは起動できません。

[原因]

他のログオンユーザが、すでにDB環境構築・削除ツールを起動しています。

[対処]

他のログオンユーザがDB環境構築・削除ツールを終了した後で起動してください。

◆ 修正No.8

修正箇所	3.1.3 DB環境構築・削除ツールで出力されるメッセージ
訂正内容	SYEN-WRN060を追加

旧記事

なし。

新記事

[SYEN-WRN060] 作成するデータベースの大きさが、容量試算値より小さいですが、処理を実行しますが？
設定値[%d]KB 試算値[%d]KB

[可変情報]

設定値[%d]：画面で指定されたデータベース容量

試算値[%d]：データベース試算容量

[原因]

処理を継続した場合、データベースの構築は可能ですが、拡張領域が試算容量より小さくなります。

[対処]

「はい」で処理を継続するか、「いいえ」で入力画面に戻って、データベース容量をデータベース試算容量以上の値に修正してください。

◆ 修正No.9

修正箇所	3.1.4 サーバ設定ツールで出力されるメッセージ
訂正内容	STCI-ERR061のメッセージを修正

旧記事

[STCI-ERR061] サーバIPアドレスを入力してください。

[原因]
サーバIPアドレスが入力されていません。

[対処]
サーバIPアドレスを入力してください。

新記事

[STCI-ERR061] サーバIPアドレス（CT管理サーバ）を入力してください。

[原因]
サーバIPアドレスが入力されていません。

[対処]
サーバIPアドレスを入力してください。

◆ 修正No.10

修正箇所	3.1.4 サーバ設定ツールで出力されるメッセージ
訂正内容	STCI-ERR153のメッセージ、原因、対処を修正

旧記事

[STCI-ERR153] ユーザ名に使用できない文字が入力されています。ユーザ名に使用できる文字は、英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、および記号です。

[原因]

ユーザ名に使用できない文字が入力されています。

[対処]

ユーザ名に使用できる文字を使用してください。ユーザ名に使用できる文字は、英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、および記号です。

新記事

[STCI-ERR153] ユーザ名に制御コードが含まれています。制御コードはユーザ名に使用できません。

[原因]

ユーザ名に制御コードが含まれています。

[対処]

ユーザ名には制御コードを使用しないでください。

◆ 修正No.11

修正箇所	3.1.4 サーバ設定ツールで出力されるメッセージ
訂正内容	STCI-ERR154のメッセージ、原因、対処を修正

旧記事

[STCI-ERR154] 備考に使用できない文字が入力されています。備考に使用できる文字は、英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、および記号です。

[原因]

備考に使用できない文字が入力されています。

[対処]

備考に使用できる文字を使用してください。備考に使用できる文字は英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、および記号です。

新記事

[STCI-ERR154] 備考に制御コードが含まれています。制御コードは備考に使用できません。

[原因]

備考に制御コードが含まれています。

[対処]

備考には制御コードを使用しないでください。

◆ 修正No.12

修正箇所	3.1.5 Active Directory連携コマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	メッセージを追加

旧記事

なし。

新記事

Active Directoryのパス情報でパス名が文字化けしていたため、取り込まなかったパス情報があります。(%d件)

[可変情報]

%d ：「組織単位名」にUNICODE固有文字が使われていた個数

[原因]

Active Directoryの組織単位の名称に、UNICODE固有の文字が使用されています。 グループ名として使用できないため、この組織単位情報は取り込みませんでした。

[対処]

組織単位の名称にUNICODE固有文字を使用しないように変更した後、再度Active Directory連携を行ってください。

◆ 修正No.13

修正箇所	3.1.5 Active Directory連携コマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	メッセージを追加

旧記事

なし。

新記事

Active Directoryのコンピュータ情報でコンピュータ名が文字化けしていたため、取り込まなかったコンピュータ情報があります。(%d件)

[可変情報]

%d ：「コンピュータ名」にUNICODE固有文字が使われていた台数

[原因]

Active Directoryのコンピュータ情報で、「コンピュータ名(name)」にUNICODE固有の文字が使用されています。 コンピュータ名として使用できないため、このコンピュータ情報は取り込みませんでした。

[対処]

「コンピュータ名(name)」にUNICODE固有文字を使用しないように変更した後、再度Active Directory連携を行ってください。

◆ 修正No.14

修正箇所	3.1.5 Active Directory連携コマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	メッセージを追加

旧記事

なし。

新記事

Active Directoryのユーザ情報で文字化けしている情報が含まれていたため、取り込まなかったユーザ情報があります。(%d名)

[可変情報]

%d ：「ユーザー ログオン名(UserPrincipalName)」にUNICODE固有文字が使われていた人数

[原因]

Active Directoryのユーザ情報で、「ユーザー ログオン名(UserPrincipalName)」にUNICODE固有の文字が使用されています。 ログオンIDとして使用できないため、このユーザ情報は取り込みませんでした。

[対処]

「ユーザー ログオン名(UserPrincipalName)」にUNICODE固有文字を使用しないように変更した後、再度Active Directory連携を行ってください。

◆ 修正No.15

修正箇所	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DPCI-ERR035を追加

旧記事

なし。

新記事

[DPCI-ERR035] パラメータ(対応ファイル)の指定が誤っています。ドライブ名で始るファイル名を指定してください。

[原因]

Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで、入力パラメータに誤りがあります。

指定されたファイルパス長が制限値を超えているか、ファイル名が正しくない可能性があります。

[対処]

入力したパラメータを見直してください。

パス長は218文字以内で指定してください。

ファイル名に使用できない文字を使用していないか、フルパスで指定されているかを確認してください。

◆ 修正No.16

修正箇所	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DPCI-ERR036を追加

旧記事

なし。

新記事

[DPCI-ERR036] パラメータ(ログファイル)の指定が誤っています。ドライブ名で始るファイル名を指定してください。

[原因]

Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで、入力パラメータに誤りがあります。

指定されたファイルパス長が制限値を超えているか、ファイル名が正しくない可能性があります。

[対処]

入力したパラメータを見直してください。

パス長は218文字以内で指定してください。

ファイル名に使用できない文字を使用していないか、フルパスで指定されているかを確認してください。

◆ 修正No.17

修正箇所	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DPCI-ERR037を追加

旧記事

なし。

新記事

[DPCI-ERR037] パラメータ(トレースレベル)の指定が誤っています。1 から 5 までの値を入力してください。

[原因]

Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで、入力パラメータに誤りがあります。

トレースレベルの指定値が誤っています。

[対処]

トレースレベルは1から5までの数値で入力してください。

◆ 修正No.18

修正箇所	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DPCI-ERR038を追加

旧記事

なし。

新記事

[DPCI-ERR038] パラメータ(廃棄フォルダ情報ファイル)の指定が誤っています。ドライブ名で始るファイル名を指定してください。

[原因]

Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで、入力パラメータに誤りがあります。

指定されたファイルパス長が制限値を超えているか、ファイル名が正しくない可能性があります。

[対処]

入力したパラメータを見直してください。

パス長は218文字以内で指定してください。

ファイル名に使用できない文字を使用していないか、フルパスで指定されているかを確認してください。

◆ 修正No.19

修正箇所	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DPCI-ERR040を追加

旧記事

なし。

新記事

[DPCI-ERR040] パラメータ(廃棄フォルダ情報ファイル)の指定が誤っています。廃棄フォルダとするグループ名を指定してください。

[原因]

Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで、入力パラメータに誤りがあります。

/E オプションと、/G オプションの組み合わせが誤っています。

[対処]

入力したパラメータを見直してください。

/E オプションと、/G オプションの組み合わせを正しく指定してください。

◆ 修正No.20

修正箇所	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DPSY-ERR047を追加

旧記事

なし。

新記事

[DPSY-ERR047] ユーザ情報の取り込みはユーザー元管理に設定された下位サーバでは実施できません。

[原因]

管理サーバが3階層構成でユーザー元管理を行っている場合、ユーザ情報の取り込みは統合管理サーバのみ可能です。 下位管理サーバでは、ユーザ情報の取り込みは行えません。

[対処]

入力したパラメータを見直してください。
この管理サーバの場合、/U オプションは指定できません。

◆ 修正No.21

修正箇所	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DPSY-ERR048を追加

旧記事

なし。

新記事

[DPSY-ERR048] このプログラムの排他制御でタイムアウトになりました。　処理を再実行してください。

[原因]

管理サーバのサービス上で、サービス起動時のデータ更新処理が動作しているか、Active Directory連携コマンドが動作しています。 待機時間内に継続可能な状態にならなかったため、処理を中断します。

[対処]

しばらく時間をあけて再試行してください。

◆ 修正No.22

修正箇所	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DPSY-ERR049を追加

旧記事

なし。

新記事

[DPSY-ERR049] 廃棄フォルダ情報ファイルのオープンに失敗しました。

[原因]

「廃棄フォルダ情報ファイル」がオープンできません。 以下の可能性があります。

- ドライブ、パス、あるいはファイルが存在しません。
- パス、あるいはファイルのアクセス権限がありません。

[対処]

正しいパス、ファイルを指定してください。

◆ 修正No.23

修正箇所	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DPSY-ERR050を追加

旧記事

なし。

新記事

[DPSY-ERR050] 指定されたグループが存在しないか、複数登録されています。

[原因]

存在しない「グループ名」を廃棄フォルダとして指定しました。
または、指定した「グループ名」が複数存在しています。

[対処]

作成済の、名前が重複していないグループ名を指定してください。

◆ 修正No.24

修正箇所	3.1.6 Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DPSY-ERR097を追加

旧記事

なし。

新記事

[DPSY-ERR097] メモリの獲得に失敗しました。

[原因]

Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドで、内部作業メモリの獲得に失敗しました。
OSの空きメモリが不足しています。

[対処]

不要なプログラムを終了させてから再試行してください。

◆ 修正No.25

修正箇所	3.1.7 サーバサービスで出力されるメッセージ
訂正内容	SVCM-ERR003の可変情報と対処を修正

旧記事

[SVCM-ERR003] バージョンの異なる%1からの応答を受信しました(バージョン：[%2])。処理を中止します。

[可変情報]

%1 ：要求を送信したコンポーネント

%2 ：応答を送信したコンポーネントの製品バージョン

[原因]

サーバサービスと、応答を送信したコンポーネントの製品バージョンの組み合わせが動作条件を満たしていません。

[対処]

サーバサービスと、要求を送信したコンポーネントの製品バージョンを確認してください。

新記事

[SVCM-ERR003] バージョンの異なる%1からの応答を受信しました(バージョン：[%2])。処理を中止します。

[可変情報]

%1 ：応答を送信したコンポーネント

%2 ：応答を送信したコンポーネントの製品バージョン

[原因]

サーバサービスと、応答を送信したコンポーネントの製品バージョンの組み合わせが動作条件を満たしていません。

[対処]

サーバサービスと、応答を送信したコンポーネントの製品バージョンを確認してください。

◆ 修正No.26

修正箇所	3.1.8 階層化サービスで出力されるメッセージ
訂正内容	LVCM-ERR002の可変情報と対処を修正

旧記事

[LVCM-ERR002] バージョンの異なる%1からの応答を受信しました(バージョン：[%2])。処理を中止します。

[可変情報]

%1 ：要求を送信したコンポーネント

%2 ：要求を受信したコンポーネントの製品バージョン

[原因]

階層化サービスと、応答を送信したコンポーネントの製品バージョンの組み合わせが動作条件を満たしていません。

[対処]

階層化サービスと、要求を送信したコンポーネントの製品バージョンを確認してください。

新記事

[LVCM-ERR002] バージョンの異なる%1からの応答を受信しました(バージョン：[%2])。処理を中止します。

[可変情報]

%1 ：応答を送信したコンポーネント

%2 ：応答を送信したコンポーネントの製品バージョン

[原因]

階層化サービスと、応答を送信したコンポーネントの製品バージョンの組み合わせが動作条件を満たしていません。

[対処]

階層化サービスと、応答を送信したコンポーネントの製品バージョンを確認してください。

◆ 修正No.27

修正箇所	3.1.10.1 バックアップツールで出力されるメッセージ
訂正内容	BKSY-ERR003の対処を修正

旧記事

[BKSY-ERR003] 管理サーバのサービスが起動しているため、バックアップは実行できません。動作設定より、サービス停止後処理を実施してください。

[原因]

管理サーバのサービスが起動されています。

[対処]

バックアップツールを起動するためには、管理サーバのサービスを終了し、その後バックアップツールを起動してください。

新記事

[BKSY-ERR003] 管理サーバのサービスが起動しているため、バックアップは実行できません。動作設定より、サービス停止後処理を実施してください。

[原因]

管理サーバのサービスが起動されています。

[対処]

バックアップを実行するためには、管理サーバのサービスを終了し、その後バックアップを実行してください。

◆ 修正No.28

修正箇所	3.1.10.1 バックアップツールで出力されるメッセージ
訂正内容	BKSY-ERR012のメッセージを修正

旧記事

[BKSY-ERR012] サービスの状況問い合わせに失敗しました。

[原因]
サービスの状況の取得に失敗しました。

[対処]
しばらく時間をあけて再試行してください。それでも起動できない場合は、富士通技術員に連絡してください。

新記事

[BKSY-ERR012] サービスの問い合わせに失敗しました。

[原因]
サービスの状況の取得に失敗しました。

[対処]
しばらく時間をあけて再試行してください。それでも起動できない場合は、富士通技術員に連絡してください。

◆ 修正No.29

修正箇所	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	メッセージを追加

旧記事

なし。

新記事

■DTKCVDL

抽出キーの値が空欄、または正常値「SERVER」ではありません。
コマンド中の環境変数 how の設定値を確認してください。
実行を中断します。

[原因]
抽出キーの指定に誤りがある場合に表示されます。

[対処]
入力したパラメータを見直してください。省略するか、"SERVER"と指定してください。

◆ 修正No.30

修正箇所	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	BKCI-ERR053のメッセージの原因を修正

旧記事

■DTKBFDM

[BKCI-ERR053] パラメータ(%s)の指定が誤っています。月数指定時の日の値は、1 から 31 までの値、あるいは99を入力してください。

[可変情報]

%s ：指定範囲外のパラメータ

[原因]

月数指定の場合のキーワードに、"MONTH"以外を指定しています。

[対処]

入力したパラメータを見直してください。

新記事

■DTKBFDM

[BKCI-ERR053] パラメータ(%s)の指定が誤っています。月数指定時の日の値は、1 から 31 までの値、あるいは99を入力してください。

[可変情報]

%s ：指定範囲外のパラメータ

[原因]

日の指定に誤りがある場合に表示されます。
指定可能な数値：1以上～31以下または99または省略。

[対処]

入力したパラメータを見直してください。

◆ 修正No.31

修正箇所	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	BKCI-ERR037のメッセージを修正

旧記事

■DTKLG1T

[BKCI-ERR037] 出力先フォルダ(%s)が存在しません。パラメータを正しく指定してください。

[可変情報]

%s ：存在しない出力先フォルダ名

[原因]

出力先フォルダの指定に誤りがある場合に表示されます。

- 指定がフォルダの形式をしていない
- フォルダが実在しない

[対処]

実在するフォルダの名前をフルパスで指定してください。

新記事

■DTKLG1T

[BKCI-ERR037] 出力先ディレクトリ(%s)が存在しません。パラメータを正しく指定してください。

[可変情報]

%s ：存在しない出力先フォルダ名

[原因]

出力先フォルダの指定に誤りがある場合に表示されます。

- 指定がフォルダの形式をしていない
- フォルダが実在しない

[対処]

実在するフォルダの名前をフルパスで指定してください。

◆ 修正No.32

修正箇所	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	BKCI-ERR039のメッセージを修正

旧記事

■DTKLG1T

[BKCI-ERR039] パラメータの指定個数が誤っています。パラメータを正しく指定してください。DTKLG1T [DBの名前] [ユーザID] [パスワード] [開始西暦8ケタ日付] [終了西暦8ケタ日付] [ログ種別] [格納先ディレクトリ] [抽出キー]例:DTKLG1T DTKDB USER PSW 20060401 20060430 4 C:¥BACKUP¥LV20060401

[原因]
バックアップコマンドで、入力したパラメータに誤りがあります。パラメータが不足しているか、不要なパラメータを指定しています。

[対処]
入力したパラメータを見直してください。

新記事

■DTKLG1T

[BKCI-ERR039] パラメータの指定個数が誤っています。パラメータを正しく指定してください。DTKLG1T [DBの名前] [ユーザID] [パスワード] [開始西暦8ケタ日付] [終了西暦8ケタ日付] [ログ種別] [バックアップファイル] [抽出キー]例:DTKLG1T DTKDB USER PSW 20060401 20060430 4 C:¥BACKUP¥LV20060401¥ウィンドウタイトルログ.csv

[原因]
バックアップコマンドで、入力したパラメータに誤りがあります。パラメータが不足しているか、不要なパラメータを指定しています。

[対処]
入力したパラメータを見直してください。

◆ 修正No.33

修正箇所	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	BKCI-ERR037のメッセージを修正

旧記事

■DTKLGTB

[BKCI-ERR037] 出力先フォルダ(%s)が存在しません。パラメータを正しく指定してください。

[可変情報]

%s ：存在しない出力先フォルダ名

[原因]

出力先フォルダの指定に誤りがある場合に表示されます。

- 指定がフォルダの形式をしていない
- フォルダが実在しない

[対処]

実在するフォルダの名前をフルパスで指定してください。

■DTKLGTB

[BKCI-ERR037] 出力先ディレクトリ(%s)が存在しません。パラメータを正しく指定してください。

[可変情報]

%s ：存在しない出力先フォルダ名

[原因]

出力先フォルダの指定に誤りがある場合に表示されます。

- 指定がフォルダの形式をしていない
- フォルダが実在しない

[対処]

実在するフォルダの名前をフルパスで指定してください。

◆ 修正No.34

修正箇所	3.1.10.2 バックアップコマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	BKSY-ERR010のメッセージを追加

旧記事

なし。

新記事

■DTKMSTB

[BKSY-ERR010] コマンドプロンプト・詳細ログファイルのコピー元フォルダパスが不正です。動作環境を正しく変更してください。

[原因]

コマンドプロンプト・詳細ログファイルの格納先フォルダが存在しません。

[対処]

サーバ設定ツールの[トレース/フォルダ/CT自己版数アップ設定]画面の[コマンドプロンプト・ログ保存先設定]で指定した保存先フォルダが存在するか確認してください。

◆ 修正No.35

修正箇所	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ
訂正内容	RSCI-ERR003のメッセージを修正

旧記事

[RSCI-ERR003] パスワードを入力してください。

[原因]
パスワードが入力されていません。

[対処]
パスワードを入力してください。

新記事

[RSCI-ERR003] パスワードが入力されていません。

[原因]
パスワードが入力されていません。

[対処]
パスワードを入力してください。

◆ 修正No.36

修正箇所	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ
訂正内容	RSCI-ERR014のメッセージを修正

旧記事

[RSCI-ERR014] 実行ログファイルがフォルダ名と同一です。フォルダ名と異なるファイル名を入力してください。

[原因]

実行ログファイル名に、フォルダ名と同じ名前が指定されています。

[対処]

実行ログファイルに、他のファイルやフォルダと重複しないファイル名を設定してください。

新記事

[RSCI-ERR014] 実行ログファイルがフォルダ名といっしょです。ファイル名を入力してください。

[原因]

実行ログファイル名に、フォルダ名と同じ名前が指定されています。

[対処]

実行ログファイルに、他のファイルやフォルダと重複しないファイル名を設定してください。

◆ 修正No.37

修正箇所	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ
訂正内容	RSMN-SEL004のメッセージを修正

旧記事

[RSMN-SEL004] ストア処理を実行します。
指定した対象のデータ量が多い場合、非常に時間がかかる場合があります。
・「管理情報をリストアする」を選択した場合、登録済のデータを削除して置き換えを行います。
・「ログ情報をリストアする」を選択した場合、ログの追加を行います。(二度入力すると、二重に追加します)処理を続行しますか？

[原因]
リストア処理を実行しようとしています。

[対処]
続行する場合は[OK]ボタンをクリックしてください。処理を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

新記事

[RSMN-SEL004] リストア処理を実行します。
指定した対象のデータ量が多い場合、あるいはデータベースに登録されているデータ量が多い場合、非常に時間がかかる場合があります。
・「管理情報をリストアする」を選択した場合、登録済のデータを削除して置き換えを行います。
・「ログ情報をリストアする」を選択した場合、ログの追加を行います。
リストア対象期間のログがすでにデータベースに登録されている場合、重複して登録されます。
処理を続行しますか？

[原因]
リストア処理を実行しようとしています。

[対処]
続行する場合は[OK]ボタンをクリックしてください。処理を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

◆ 修正No.38

修正箇所	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ
訂正内容	RSSY-ERR003の対処を修正

旧記事

[RSSY-ERR003] 管理サーバのサービスが起動しているため、リストアは実行できません。動作設定より、サービス停止後処理を実施してください。

[原因]

バックアップツールが起動されています。

[対処]

リストアツールを起動するためには、バックアップツールを終了し、その後リストアツールを起動してください。

新記事

[RSSY-ERR003] 管理サーバのサービスが起動しているため、リストアは実行できません。動作設定より、サービス停止後処理を実施してください。

[原因]

バックアップツールが起動されています。

[対処]

リストアを実行するためには、管理サーバのサービスを終了し、その後リストアを実行してください。

◆ 修正No.39

修正箇所	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ
訂正内容	RSSY-ERR018の原因、対処を修正

旧記事

[RSSY-ERR018] 他のユーザがリストアツールを起動しているため、この端末からは起動できません。

[原因]

他のユーザがすでにリストアツールを起動しています。 そのため、リストアツールを起動できませんでした。

[対処]

他のユーザがバックアップツールの使用を終了した後、再度起動してください。

新記事

[RSSY-ERR018] 他のユーザがリストアツールを起動しているため、この端末からは起動できません。

[原因]

他のユーザがすでにリストアツールを起動しています。 そのため、リストアツールを起動できませんでした。

[対処]

他のユーザがリストアツールの使用を終了した後、再度起動してください。

◆ 修正No.40

修正箇所	3.1.10.3 リストアツールで出力されるメッセージ
訂正内容	BKSY-ERR015を追加

旧記事

なし。

新記事

[BKSY-ERR015] 削除可能件数の取得に失敗しました。(%d) データベースに問題があります。

[可変情報]

%d：詳細エラー番号

[原因]

データベースに異常があり、必要な情報取得ができませんでした。

[対処]

データベースを正常な状態にした後、再度実行してください。

◆ 修正No.41

修正箇所	3.1.11 情報表示・再構築ツールで出力されるメッセージ
訂正内容	SYME-ERR075の原因、対処を修正

旧記事

[SYME-ERR075] 他のユーザがDB情報表示・再構築ツールを起動しているため、この端末からは起動できません。

[原因]

DB情報表示・再構築ツールを他のユーザが起動しています。

[対処]

他のユーザがDB情報表示・再構築ツールを終了した後で起動してください。

新記事

[SYME-ERR075] 他のユーザがDB情報表示・再構築ツールを起動しているため、この端末からは起動できません。

[原因]

他のログオンユーザがすでにDB情報表示・再構築ツールを起動しています。

[対処]

他のログオンユーザがDB情報表示・再構築ツールを終了した後で起動してください。

◆ 修正No. 42

修正箇所	3.1.11 情報表示・再構築ツールで出力されるメッセージ
訂正内容	SYME-WRN060の可変情報、原因、対処を修正

旧記事

[SYME-WRN060] 再構築するデータベースの大きさが、容量試算値より小さいですが、処理を続行しますか？
試算値 [XXXX] MB　設定値 [XXXX] MB

[原因]
データベース容量の入力値が試算値より小さいです。

[対処]
「はい」で処理を継続、「いいえ」で入力画面に戻ってください。

新記事

[SYME-WRN060] 再構築するデータベースの大きさが、容量試算値より小さいですが、処理を続行しますか？
試算値 [XXXX] MB　設定値 [XXXX] MB

[可変情報]
設定値：画面で指定されたデータベース容量
試算値：データベース試算容量

[原因]
データベース容量の入力値が試算値より小さいです。
処理を継続した場合、データベースの構築は可能ですが、拡張領域が試算容量より小さくなります。

[対処]
「はい」で処理を継続するか、「いいえ」で入力画面に戻って、データベース容量をデータベース試算容量以上の値に修正してください。

◆ 修正No.43

修正箇所	3.1.11 情報表示・再構築ツールで出力されるメッセージ
訂正内容	SYME-WRN055を新規追加

旧記事

なし。

新記事

[SYME-WRN055] この処理はキャンセルできません。

[原因]

キャンセルできない処理中にキャンセルボタンが押されました。

[対処]

キャンセルができるかを確認してから、操作してください。

◆ 修正No.44

修正箇所	3.1.12.1 DB移行コマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DCCI-ERR105のメッセージを修正

旧記事

[DCCI-ERR105] データベースの移行が、一部実施されているか移行済みです。 /CKオプションを指定して、データベースの状態を確認してください。

[原因]

データベースの移行が一部実施されているか、移行済みです。 完全に13.2のデータベース構造となっているかは、再度パラメータに13.2と/CKオプションを指定して確認する必要があります。

[対処]

パラメータに13.2と/CKオプションを指定して、再度実行してください。 データベースの移行が不完全の場合には、パラメータに13.2と/EXオプションを指定して、再度実行してください。

新記事

[DCCI-ERR105] データベースの移行が一部実施されているか、移行済です。 /CKオプションを指定して、データベースの状態を確認してください。

[原因]

データベースの移行が一部実施されているか、移行済みです。 完全に13.2のデータベース構造となっているかは、再度パラメータに13.2と/CKオプションを指定して確認する必要があります。

[対処]

パラメータに13.2と/CKオプションを指定して、再度実行してください。 データベースの移行が不完全の場合には、パラメータに13.2と/EXオプションを指定して、再度実行してください。

◆ 修正No.45

修正箇所	3.1.12.2 データ移行コマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DCCI-ERR001のメッセージを修正

旧記事

[DCCI-ERR001] パラメータの指定個数が誤っています。 パラメータを正しく指定してください。DTKTBLCV 13.3 [/CK | /UI | /UP | /IN] [入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)]
例:DTKTBLCV 13.3 /UP C:¥temp¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /UI C:¥temp¥UserInfo.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /CK C:¥temp¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /IN C:¥Temp¥

[原因]
入力パラメータに誤りがあります。パラメータが不足しているか、不要なパラメータを指定しています。

[対処]
入力したパラメータを見直してください。

新記事

[DCCI-ERR001] パラメータの指定個数が誤っています。 パラメータを正しく指定してください。
DTKTBLCV 13.3 [/CK | /UI | /UP | /IN] [入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)]
例:DTKTBLCV 13.3 /UP C:¥temp¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /UI C:¥temp¥UserInfo.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /CK C:¥temp¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /IN C:¥temp¥UserPolicy.csv

[原因]
入力パラメータに誤りがあります。パラメータが不足しているか、不要なパラメータを指定しています。

[対処]
入力したパラメータを見直してください。

◆ 修正No.46

修正箇所	3.1.12.2 データ移行コマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DCCI-ERR002のメッセージを修正

旧記事

[DCCI-ERR002] パラメータの指定個数が誤っています。 パラメータを正しく指定してください。
DTKTBLCV 13.3 [/CK | /UI | /UP | /IN] [入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)]
例:DTKTBLCV 13.3 /UP C:¥Temp¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /UI C:¥Temp¥UserInfo.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /CK C:¥Temp¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /IN C:¥Temp¥

[原因]
入力パラメータで、2番目の入力パラメータに誤りがあります。

[対処]
入力したパラメータを見直してください。

新記事

[DCCI-ERR002] パラメータの指定が誤っています。 2番目の引数には、/UI、/UP、/IN、または/CKを指定してください。
DTKTBLCV 13.3 [/CK | /UI | /UP | /IN] [入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)]
例:DTKTBLCV 13.3 /UP C:¥temp¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /UI C:¥temp¥UserInfo.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /CK C:¥temp¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /IN C:¥temp¥UserPolicy.csv

[原因]
入力パラメータで、2番目の入力パラメータに誤りがあります。

[対処]
入力したパラメータを見直してください。

◆ 修正No.47

修正箇所	3.1.12.2 データ移行コマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DCCI-ERR006のメッセージを修正

旧記事

[DCCI-ERR006] 入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)にファイル名として使用できない文字を使用しています。以下の文字は使用できません。¥, /, :, *, ?, ″, <, >, | は使用できません。

[原因]

入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)の指定に誤りがあります。ファイル名に ¥, /, :, *, ?, ″, <, >, | は使用できません。

[対処]

ファイル名を正しく入力してください。

新記事

[DCCI-ERR006] 入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)にファイル名として使用できない文字を使用しています。以下の文字は使用できません。
¥, /, :, *, ?, ″, <, >, | は使用できません。

[原因]

入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)の指定に誤りがあります。ファイル名に ¥, /, :, *, ?, ″, <, >, | は使用できません。

[対処]

ファイル名を正しく入力してください。

◆ 修正No.48

修正箇所	3.1.12.2 データ移行コマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DCCI-ERR015のメッセージを修正

旧記事

[DCCI-ERR015] パラメータの指定が誤っています。1番目の引数には、バージョンを指定してください。
DTKTBLCV 13.3 [/CK | /UI | /UP | /IN] [入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)]
例:DTKTBLCV 13.3 /UP C:¥¥temp¥¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /UI C:¥¥temp¥¥UserInfo.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /CK C:¥¥temp¥¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /IN C:¥temp¥UserPolicy.csv

[原因]
データ移行コマンドで、1番目の入力パラメータに誤りがあります。過去のバージョンを指定しているか、存在しないバージョンを指定しています。

[対処]
入力したパラメータを見直してください。

新記事

[DCCI-ERR015] パラメータの指定が誤っています。1番目の引数には、バージョンを指定してください。
DTKTBLCV 13.3 [/CK | /UI | /UP | /IN] [入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)]
例:DTKTBLCV 13.3 /UP C:¥temp¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /UI C:¥temp¥UserInfo.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /CK C:¥temp¥UserPolicy.csv
例:DTKTBLCV 13.3 /IN C:¥temp¥UserPolicy.csv

[原因]
データ移行コマンドで、1番目の入力パラメータに誤りがあります。過去のバージョンを指定しているか、存在しないバージョンを指定しています。

[対処]
入力したパラメータを見直してください。

◆ 修正No.49

修正箇所	3.1.12.2 データ移行コマンドで出力されるメッセージ
訂正内容	DCCI-ERR017を追加

旧記事

なし。

新記事

[DCCI-ERR017] 最大パス長を超えました。処理を中断します。

[原因]

入力パラメータに誤りがあります。
入力ファイル名/出力ファイル名(フルパス)の指定されたファイルパス長が制限値を超えています。

[対処]

入力したパラメータを見直してください。
パス長は260文字以内で指定してください。

◆ 修正No.50

修正箇所	3.1.13 イベントログに出力されるメッセージ
訂正内容	イベントID3009のメッセージを修正

旧記事

エラー内容：ディスク容量不足
管理サーバ：%1(%2)
発生日時：%3
詳細：一括送信ログフォルダのディスクの空き領域が不足しています:[%4].

[可変情報]
%1 ：管理(統合管理)サーバの端末名
%2 ：管理(統合管理)サーバのIPアドレス
%3 ：ディスク容量不足が発生した日時
%4 ：一括ログフォルダのパス

[イベントID]
3009

[種類]
エラー

[ソース]
SWDTK

[原因]
一括送信ログフォルダのディスクの空き領域が不足しています。

[対処]
不要なファイルを退避するなどして空き領域を確保してください。

新記事

エラー内容：ディスク容量不足
管理サーバ：%1(%2)
発生日時：%3
詳細：一括送信ログフォルダのディスクの空き領域が不足しています:[%4].
不要なファイルを退避するなどして空き領域を確保してください.

[可変情報]
%1 ：管理(統合管理)サーバの端末名
%2 ：管理(統合管理)サーバのIPアドレス
%3 ：ディスク容量不足が発生した日時
%4 ：一括ログフォルダのパス

[イベントID]
3009

[種類]
エラー

[ソース]
SWDTK

［原因］

一括送信ログフォルダのディスクの空き領域が不足しています。

［対処］

不要なファイルを退避するなどして空き領域を確保してください。

◆ 修正No.51

修正箇所	3.2.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理コンソールで出力されるメッセージ(I211-ERR004)の原因を修正

旧記事

[I211-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]
IPアドレスを入力せずに次の画面に進もうとしました。

[対処]
正しい書式のIPアドレスを入力してください。

新記事

[I211-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]
IPアドレスの書式が正しくありません。

[対処]
正しい書式のIPアドレスを入力してください。

◆ 修正No.52

修正箇所	3.2.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理コンソールで出力されるメッセージ(MGCI-SEL006)の可変情報を修正

旧記事

[MGCI-SEL006] 設定内容を即時にサーバ(DB)へ更新後、対象CTへ設定内容を反映します。よろしいですか？
CT名:%s

[可変情報]
%s ：CTグループ名

[原因]
選択されたCTのポリシー情報を即時に更新しようとしています。

[対処]
更新する場合は[OK]ボタンをクリックしてください。処理を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

新記事

[MGCI-SEL006] 設定内容を即時にサーバ(DB)へ更新後、対象CTへ設定内容を反映します。よろしいですか？
CT名:%s

[可変情報]
%s ：CT名

[原因]
選択されたCTのポリシー情報を即時に更新しようとしています。

[対処]
更新する場合は[OK]ボタンをクリックしてください。処理を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

◆ 修正No.53

修正箇所	3.2.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理コンソールで出力されるメッセージ(MGCI-SEL007)の可変情報を修正

旧記事

[MGCI-SEL007] 設定内容をサーバ(DB)へ更新後、次回CT起動時に反映します。よろしいですか？
CT名:%s

[可変情報]
%s ：CTグループ名

[原因]
選択されたCTの次回起動時に取得するポリシー情報を更新しようとしています。

[対処]
更新する場合は[OK]ボタンをクリックしてください。処理を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

新記事

[MGCI-SEL007] 設定内容をサーバ(DB)へ更新後、次回CT起動時に反映します。よろしいですか？
CT名:%s

[可変情報]
%s ：CT名

[原因]
選択されたCTの次回起動時に取得するポリシー情報を更新しようとしています。

[対処]
更新する場合は[OK]ボタンをクリックしてください。処理を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

◆ 修正No.54

修正箇所	3.2.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理コンソールで出力されるメッセージ(MGCI-SEL009)のメッセージを修正

旧記事

[MGCI-SEL009] Systemwalker Desktop Patrolの構成情報取り込む場合は、Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドを使用してください。このメニューからの構成情報取り込みを行うと、登録済みのグループは削除され、グループポリシーや部門管理者の再設定が必要となります。
構成情報を取り込みますか？

[原因]

Systemwalker Desktop Patrolの構成情報取り込み実行前に表示されます。

[対処]

Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドによる運用を行うかどうか判断してください。 一度限りの連携で良い場合には[OK]ボタンを、Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドによる運用を行う場合は[キャンセル]ボタンを押下してください。 基本的にはSystemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドによる運用を行ってください。

新記事

[MGCI-SEL009] Systemwalker Desktop Patrolの構成情報を取り込む場合は、Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドを使用してください。このメニューからの構成情報取り込みを行うと、登録済みのグループは削除され、グループポリシーや部門管理者の再設定が必要となります。
構成情報を取り込みますか？

[原因]

Systemwalker Desktop Patrolの構成情報取り込み実行前に表示されます。

[対処]

Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドによる運用を行うかどうか判断してください。 一度限りの連携で良い場合には[OK]ボタンを、Systemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドによる運用を行う場合は[キャンセル]ボタンを押下してください。 基本的にはSystemwalker Desktop Patrol構成情報取り込みコマンドによる運用を行ってください。

◆ 修正No.55

修正箇所	3.2.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	管理コンソールで出力されるメッセージ(MGPW-ERR008)のメッセージを修正

旧記事

[MGPW-ERR008] パスワードに使用出きない文字を使用しています。
以下の文字は使用できません。&, :, ?, ″, ~, ', ^, <, >, | および全角の空白半角の空白は使用できません。

[原因]
パスワードに使用できない文字が入力されています。

[対処]
パスワードに使用できる文字を入力してください。

新記事

[MGPW-ERR008] パスワードに使用できない文字を使用しています。以下の文字は使用できません。
&, ¥, :, ?, ″, ~, ^, ', <, >, |, および全角の空白、半角の空白は使用できません。

[原因]
パスワードに使用できない文字が入力されています。

[対処]
パスワードに使用できる文字を入力してください。

◆ 修正No.56

修正箇所	3.3.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	ログビューアで出力されるメッセージ(I311-ERR001)のメッセージ、原因、対処を修正

旧記事

[I311-ERR001] ポート番号の値として正しくありません。5001 から 60000 までの値を入力してください。

[原因]

ポート番号に5001～60000以外の数字、または数字以外の文字が入力されています。

[対処]

5001 から 60000 までの値を入力してください。

新記事

[I311-ERR001] IPアドレスの値として正しくありません。1 から 254 までの値を入力してください。

[原因]

IPアドレスに1～254以外の数字、または数字以外の文字が入力されています。

[対処]

1 から 254 までの値を入力してください。

◆ 修正No.57

修正箇所	3.3.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	ログビューアで出力されるメッセージ(I311-ERR003)のメッセージ、原因、対処を修正

旧記事

[I311-ERR003] ポート番号の値として正しくありません。0 から 65535 までの値を入力してください。

[原因]

ポート番号に0～65535以外の数字、または数字以外の文字が入力されています。

[対処]

0 から 65535 までの値を入力してください。

新記事

[I311-ERR003] ポート番号の値として正しくありません。5001 から 60000 までの値を入力してください。

[原因]

ポート番号に5001～60000以外の数字、または数字以外の文字が入力されています。

[対処]

5001 から 60000 までの値を入力してください。

◆ 修正No.58

修正箇所	3.3.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	ログビューアで出力されるメッセージ(I311-ERR004)の原因を修正

旧記事

[I311-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]
IPアドレスを入力せずに次の画面に進もうとしました。

[対処]
正しい書式のIPアドレスを入力してください。

新記事

[I311-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]
IPアドレスの書式が正しくありません。

[対処]
正しい書式のIPアドレスを入力してください。

◆ 修正No.59

修正箇所	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	ログビューアで出力されるメッセージ(LGCM-SEL003)の可変情報を修正

旧記事

[LGCM-SEL003] ファイルサイズが10MBを超えるため、処理に時間がかかります。続行しますか？[取得サイズ:nMB]

[原因]

原本ファイルの取り出し時に、対象ファイルのサイズが10MBを超える場合に表示されます。 メッセージ中の nMB は、ファイルのサイズをメガバイトで表した数値で、少数点以下2桁まで表示されます。

[対処]

表示されたファイルのサイズを確認してください。 サイズが大きい場合には、取り出しに時間がかかります。取り出しを行う場合は[OK]ボタンをクリックしてください。処理を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

新記事

[LGCM-SEL003] ファイルサイズが10MBを超えるため、処理に時間がかかります。続行しますか？[取得サイズ:nMB]

[可変情報]

n：取得しようとした原本保管ファイルのファイルサイズ

[原因]

原本ファイルの取り出し時に、対象ファイルのサイズが10MBを超える場合に表示されます。 メッセージ中の nMB は、ファイルのサイズをメガバイトで表した数値で、少数点以下2桁まで表示されます。

[対処]

表示されたファイルのサイズを確認してください。 サイズが大きい場合には、取り出しに時間がかかります。取り出しを行う場合は[OK]ボタンをクリックしてください。処理を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

◆ 修正No.60

修正箇所	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	ログビューアで出力されるメッセージ(LGDL-ERR004)の可変情報を修正

旧記事

[LGDL-ERR004] 原本ファイル情報取得失敗。(コード:n)

[原因]

原本ファイルのファイル保存のため、原本ファイルの名前、ファイルサイズを取得する時に、情報が取得できない場合に表示します。

[対処]

しばらく時間を空けてから、再度処理を実行してください。原本ファイルを削除している場合には、バックアップより戻してください。

新記事

[LGDL-ERR004] 原本ファイル情報取得失敗。(コード:n)

[可変情報]

n：エラーコード

[原因]

原本ファイルのファイル保存のため、原本ファイルの名前、ファイルサイズを取得する時に、情報が取得できない場合に表示します。

[対処]

しばらく時間を空けてから、再度処理を実行してください。原本ファイルを削除している場合には、バックアップより戻してください。

◆ 修正No.61

修正箇所	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	ログビューアで出力されるメッセージ(LGPW-ERR008)のメッセージを修正

旧記事

[LGPW-ERR008] パスワードに使用出きない文字を使用しています。
以下の文字は使用できません。&, :, ?, ″, ~, ', ^, <, >, | および全角の空白半角の空白は使用できません。

[原因]
パスワードに使用できない文字が入力されています。

[対処]
パスワードに使用できる文字を入力してください。

新記事

[LGPW-ERR008] パスワードに使用出きない文字を使用しています。
以下の文字は使用できません。&, ¥, :, ?, ″, ~, ^, ', <, >, |, および全角の空白、半角の空白は使用できません。

[原因]
パスワードに使用できない文字が入力されています。

[対処]
パスワードに使用できる文字を入力してください。

◆ 修正No.62

修正箇所	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	ログビューアで出力されるメッセージ(LGCM-ERR020)を追加

旧記事

なし。

新記事

[LGCM-ERR020] 文字確認画面を表示するためのhtmlファイルの作成に失敗しました。

[原因]

以下の原因が考えられます。

- ユーザ環境変数Tempが定義されていません
- ユーザ環境変数Tempが示しているパスが存在しません
- ユーザ環境変数Tempが示しているパスが書き込み禁止です
- ユーザ環境変数Tempが示しているパスのドライブに空き領域がありません

[対処]

ユーザ環境変数であるTempを定義してください。パスが存在するかどうか、パスに読み込み、書き込み、のアクセス権を正しく設定しているか、ドライブに空き領域があるか、などを確認してください。

◆ 修正No.63

修正箇所	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	ログビューアで出力されるメッセージ(LGCM-INF003)を追加

旧記事

なし。

新記事

[LGCM-INF003] 原本保管ファイルの保存処理中のため、現在この処理は行えません。

[原因]

原本保管ファイルの保存処理中にメイン画面で処理を行おうとしました。

[対処]

この操作は、原本保管ファイルの保存終了後に行ってください。

◆ 修正No.64

修正箇所	3.3.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	ログビューアで出力されるメッセージ(LGCM-INF004)を追加

旧記事

なし。

新記事

[LGCM-INF004] ファイル追跡処理中のため、現在この処理は行えません。

[原因]

ファイル追跡処理中にメイン画面で処理を行おうとしました。

[対処]

この操作は、ファイル追跡画面を閉じた後で行ってください。

◆ 修正No.65

修正箇所	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR004)の可変情報を修正

旧記事

[I401-ERR004] InstConf.iniから%sの値を読み込めませんでした。再度インストールを行ってください。インストールを中止します。

[可変情報]

%s ：読み込みに失敗した以下のいずれかのセクション名

- SvIPAddress
- SvIPAddress2
- CommPort
- SendPort
- SendPort2
- Password
- LogDirectory
- ClientDirectory
- PrinterMode

[原因]

InstConf.iniに記述する%sを読込めません。

[対処]

InstConf.iniファイルのパス、内容を確認してください。

新記事

[I401-ERR004] InstConf.iniから%sの値を読み込めませんでした。再度インストールを行ってください。インストールを中止します。

[可変情報]

%s ：読み込みに失敗した以下のいずれかのセクション名

- SvIPAddress
- SvIPAddress2
- CommPort
- SendPort
- SendPort2
- Password
- LogDirectory
- RebootAfterInstall
- ClientDirectory
- PrinterMode
- MailSendWatchPort
- MailAttachDeterrentMode
- MailAttachDeterrentPort
- MailAttachDeterrentPort2

[原因]

InstConf.iniに記述する%sを読込めません。

［対処］

InstConf.iniファイルのパス、内容を確認してください。

◆ 修正No.66

修正箇所	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR005)の可変情報を修正

旧記事

[I401-ERR005] InstConf.iniファイルの中の、%sの値が正しくありません。正しい値を記述してください。インストールを中止します。

[可変情報]

%s ：値に誤りがある以下のいずれかのセクション名

- SvIPAddress
- SvIPAddress2
- CommPort
- SendPort
- SendPort2
- Password
- LogDirectory
- ClientDirectory
- PrinterMode

[原因]

InstConf.iniに記述する%sの値が正しく記述されていません。

[対処]

InstConf.iniファイルに正しく記述してください。

新記事

[I401-ERR005] InstConf.iniファイルの中の、%sの値が正しくありません。正しい値を記述してください。インストールを中止します。

[可変情報]

%s ：値に誤りがある以下のいずれかのセクション名

- SvIPAddress
- SvIPAddress2
- CommPort
- SendPort
- SendPort2
- Password
- LogDirectory
- RebootAfterInstall
- ClientDirectory
- PrinterMode
- MailSendWatchPort
- MailAttachDeterrentMode
- MailAttachDeterrentPort
- MailAttachDeterrentPort2

[原因]

InstConf.iniに記述する%sの値が正しく記述されていません。

［対処］

InstConf.iniファイルに正しく記述してください。

◆ 修正No.67

修正箇所	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR103)の対処を修正

旧記事

[I401-ERR103] コマンドプロンプトの置き換えに失敗しました。システム管理者に連絡してください。

[原因]

コマンドプロンプトのショートカットの置換えに失敗しました。

[対処]

コマンドプロンプトのショートカットのリンク先をWindowsシステムフォルダの「fsw11ej5.exe」に変更してください。

新記事

[I401-ERR103] コマンドプロンプトの置き換えに失敗しました。システム管理者に連絡してください。

[原因]

コマンドプロンプトのショートカットの置換えに失敗しました。

[対処]

コマンドプロンプトのショートカットのリンク先をWindowsシステムフォルダの「fsw41ej1.exe」に変更してください。

◆ 修正No.68

修正箇所	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I401-WRN001)を修正

旧記事

[I401-WRN001] ログ格納フォルダに指定したフォルダは、抑止ドライブとして指定した場合、
ログが正常に採取できない可能性があります。
OSインストールドライブのフォルダを指定することを推奨します。

[原因]
ログ格納フォルダとして、OSインストールドライブ以外のドライブを指定した場合に表示されます。

[対処]
ログ格納フォルダにはOSインストールドライブのフォルダを指定することを推奨します。

新記事

[I401-WRN001] ログ格納フォルダのドライブが抑止ドライブとして指定された場合、
ログが正常に採取できない可能性があります。
OSインストールドライブのフォルダを指定することを推奨します。
続行しますか？

[原因]
ログ格納フォルダとして、OSインストールドライブ以外のドライブを指定した場合に表示されます。

[対処]
ログ格納フォルダにはOSインストールドライブのフォルダを指定することを推奨します。

◆ 修正No.69

修正箇所	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I411-ERR004)の原因を修正

旧記事

[I411-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]
IPアドレスを入力せずに次の画面に進もうとしました。

[対処]
正しい書式のIPアドレスを入力してください。

新記事

[I411-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]
IPアドレスの書式が正しくありません。

[対処]
正しい書式のIPアドレスを入力してください。

◆ 修正No.70

修正箇所	3.4.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR117)を追加

旧記事

なし。

新記事

[I401-ERR117] Citrix Presentation Server監視機能がすでにインストールされています。アンインストール後、再度インストールしてください。インストールを中止します。

[原因]

Citrix Presentation Server監視機能がすでにインストールされています。

[対処]

Citrix Presentation Server監視機能をアンインストール後、再度インストールしてください。

◆ 修正No.71

修正箇所	3.4.2 アンインストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR103)を修正

旧記事

[I402-ERR103] Systemwalker Desktop Keeper のサービスを停止することができませんでした。システム管理者に連絡してください。アンインストールを中止します。

[原因]

アンインストール時、Systemwalker Desktop Keeperクライアントのサービスを停止できません。

[対処]

サービスが無応答状態になっている場合などに発生します。再起動したのちに、再度アンインストールしてください。

新記事

[I402-ERR103] Systemwalker Desktop Keeper のサービスを停止することができませんでした。アンインストールを中止します。

[原因]

アンインストール時、Systemwalker Desktop Keeperクライアントのサービスを停止できません。

[対処]

サービスが無応答状態になっている場合などに発生します。再起動したのちに、再度アンインストールしてください。

◆ 修正No.72

修正箇所	3.4.2 アンインストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR105)を追加

旧記事

なし。

新記事

[I402-ERR105] コマンドラインで指定したパラメータの書式が正しくありません。正しい書式で記述してください。
ex. > Setup.exe /Silent "Password:[password],Reboot:1"
アンインストールを中止します。

[原因]
パラメータの書式が正しくありません。

[対処]
パラメータの書式を正しく記述してください。

◆ 修正No.73

修正箇所	3.4.2 アンインストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR106)を追加

旧記事

なし。

新記事

[I402-ERR106] コマンドラインからパラメタを読込めませんでした。パラメタを確認後、再度アンインストールを行ってください。アンインストールを中止します。

[原因]

コマンドラインからパラメタを読込めませんでした。

[対処]

パラメタを確認後、再度アンインストールしてください。

◆ 修正No.74

修正箇所	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(S301-ERR002)を追加

旧記事

[S301-ERR002] 受信モジュールの書き込みでエラーが発生しました。ディスク空き容量不足です。OSのインストールドライブの空き容量を確認してください。更新処理を中止します。次回OS起動後に再度実行します。

[原因]
ディスク空き容量不足です。

[対処]
インストールドライブの空き容量を確認してください。

新記事

[S301-ERR002] 受信モジュールの書込みでエラーが発生しました。ディスク空き容量不足です。OSのインストールドライブの空き容量を確認してください。更新処理を中止します。次回OS起動後に再度実行します。

[原因]
ディスク空き容量不足です。

[対処]
インストールドライブの空き容量を確認してください。

◆ 修正No.75

修正箇所	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(S401-ERR002)を追加

旧記事

[S401-ERR002] 受信モジュールの書き込みでエラーが発生しました。ディスク空き容量不足です。OSのインストールドライブの空き容量を確認してください。更新処理を中止します。次回OS起動後に再度実行します。

[原因]
ディスク空き容量不足です。

[対処]
インストールドライブの空き容量を確認してください。

新記事

[S401-ERR002] 受信モジュールの書込みでエラーが発生しました。ディスク空き容量不足です。OSのインストールドライブの空き容量を確認してください。更新処理を中止します。次回OS起動後に再度実行します。

[原因]
ディスク空き容量不足です。

[対処]
インストールドライブの空き容量を確認してください。

◆ 修正No.76

修正箇所	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(D1F2-ERR001)を追加

旧記事

なし。

新記事

[D1F2-ERR001]メール送信に失敗しました。
（タイトル<メールのSUBJECT>）

[原因]
仮想メールサーバからメールサーバにメールを送信しましたが、エラーとなり、メールが送信されませんでした。

[対処]
ネットワークの問題によりメールサーバに接続できなかったか、メールサーバに問題が発生しています。環境のチェックが必要です。

◆ 修正No.77

修正箇所	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(D1F2-ERR002)を追加

旧記事

なし。

新記事

[D1F2-ERR002] %s以降に送信されたメールが正しく送信されていない可能性があります。ネットワークに異常があるかメールサーバが見つかりません。

[可変情報]

%s　:　送信時刻

[原因]

以下の原因が該当します。

- メールサーバを見つけることができません。
- SMTP通信ではありません。
- 暗号化通信を行っています。
- サポートしていない文字コードを使用しています。
- メーラから送信が中断されました。
- 送信中に予期せぬエラーが発生しました。

[対処]

上記の原因を取り除き、該当メールを再送信してください。

◆ 修正No.78

修正箇所	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(D1F2-ERR003)を追加

旧記事

なし。

新記事

[D1F2-ERR003] %s以降に送信されたメールが正しく送信されていない可能性があります。メールサーバからエラーが返却されました。

[可変情報]

%s　：　送信時刻

[原因]

メールサーバからエラーが返却されました。
以下の条件をすべて満たす原因が該当します。

- 送信先のメールアドレスがすべてメールサーバと同じドメインを持つアカウントである場合。
- 実際に該当のメールサーバには指定されたアドレスが存在しない場合。
- 指定した送信先のメールアドレスがすべて上記条件にあてはまる場合。

[対処]

メールサーバ側のエラーの対処をしてください。

◆ 修正No.79

修正箇所	3.4.3 運用時に出力されるメッセージ
訂正内容	クライアント(CT)の運用時に出力されるメッセージ(D1F3-ERR001)を追加

旧記事

なし。

新記事

[D1F3-ERR001] %s以降に送信されたメールが正しく送信されていない可能性があります。

[可変情報]

%s　：　送信時刻

[原因]

以下のどちらかの原因が該当します。

- メール送信中のシャットダウンなどで送信できていないメールがあります。
- メール解析時に使用した作業ファイルの削除ができませんでした。

[対応]

原因を取り除き、該当メールを再送信してください。

◆ 修正No.80

修正箇所	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ
訂正内容	FCCD-ERR022のメッセージを修正

旧記事

[FCCD-ERR022] 選択したドライブには、ファイル持出しユーティリティで消去可能なメディアがセットされていません。
消去するメディアをセットし、処理を再度実行してください。

[原因]
消去可能なメディアがセットされていません。

[対処]
消去するメディアをセットし、処理を再度実行してください。

新記事

[FCCD-ERR022] 選択したドライブには、ファイル持出しユーティリティで消去可能なメディアがセットされていません。

[原因]
消去可能なメディアがセットされていません。

[対処]
消去するメディアをセットし、処理を再度実行してください。

◆ 修正No.81

修正箇所	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ
訂正内容	FCCD-INF003のメッセージを修正

旧記事

[FCCD-INF003] メディアへの書き込み中です。
ファイルファイル持出しユーティリティを終了しないでください。
また、処理中は他のアプリケーションを起動しないでください。開始時間: yyyy/mm/dd hh:mm:ss

[原因]
―

[対処]
―

新記事

[FCCD-INF003] メディアへの書き込み中です。
ファイル持出しユーティリティを終了しないでください。
また、処理中は他のアプリケーションを起動しないでください。開始時間: yyyy/mm/dd hh:mm:ss

[原因]
―

[対処]
―

◆ 修正No.82

修正箇所	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ
訂正内容	FCCD-INF004のメッセージを修正

旧記事

[FCCD-INF004] メディアの消去中です。
ファイルファイル持出しユーティリティを終了しないでください。
また、処理中は他のアプリケーションを起動しないでください。開始時間: yyyy/mm/dd hh:mm:ss

[原因]
―

[対処]
―

新記事

[FCCD-INF004] メディアの消去中です。
ファイル持出しユーティリティを終了しないでください。
また、処理中は他のアプリケーションを起動しないでください。開始時間: yyyy/mm/dd hh:mm:ss

[原因]
―

[対処]
―

◆ 修正No.83

修正箇所	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ
訂正内容	FCCM-INF002のメッセージと原因を修正

旧記事

[FCCM-INF002] 持出しユーティリティは起動できないポリシー設定になっています。

[原因]
持出しユーティリティを起動できないポリシーが設定されています。

[対処]
持出しユーティリティを使用できるポリシーへの変更を管理者に依頼してください。

新記事

[FCCM-INF002] 持出しユーティリティは使用できないポリシー設定になっています。

[原因]
持出しユーティリティが使用できないポリシーに設定されています。

[対処]
持出しユーティリティを使用できるポリシーへの変更を管理者に依頼してください。

◆ 修正No.84

修正箇所	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ
訂正内容	FCSB-ERR002のメッセージを修正

旧記事

[FCSB-ERR002] 複写先のファイルは既に存在します。

[原因]
すでに存在しているファイルを複写先に指定しました。

[対処]
複写先のファイル名を見直してください。

新記事

[FCSB-ERR002] 複写先のファイルはすでに存在します。

[原因]
すでに存在しているファイルを複写先に指定しました。

[対処]
複写先のファイル名を見直してください。

◆ 修正No.85

修正箇所	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ
訂正内容	FCSB-ERR008のメッセージを修正

旧記事

[FCSB-ERR008] ファイルを読込むことができません。

[原因]
ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

[対処]
処理中にファイルが操作されていないか、他のアプリケーションでファイルを開いていないか確認してください。また、処理中にネットワークなどの環境で異常が発生していないか確認してください。問題を改善後、再度実行してください。

新記事

[FCSB-ERR008] ファイルを読み込むことができません。

[原因]
ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

[対処]
処理中にファイルが操作されていないか、他のアプリケーションでファイルを開いていないか確認してください。また、処理中にネットワークなどの環境で異常が発生していないか確認してください。問題を改善後、再度実行してください。

◆ 修正No.86

修正箇所	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ
訂正内容	FCCA-ERR010を追加

旧記事

なし。

新記事

[FCCA-ERR010] 持出し先として指定されたネットワークへの接続に失敗したため、処理を続行出来ません。

[原因]

持出し先として指定されたネットワークへの接続に失敗しました。

[対処]

ネットワークの接続を確認し、再度実行してください。

◆ 修正No.87

修正箇所	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ
訂正内容	FCCD-ERR035を追加

旧記事

なし。

新記事

[FCCD-ERR035] 現在他のログオンユーザがメディアに書き込みを行っています。 書き込みが完了してから再度処理を実行してください。

[原因]

他のログオンユーザがメディアへの書き込みを行っているため、持出しユーティリティからの書き込みが行えませんでした。

[対処]

他のログオンユーザがメディアへの書き込み完了後に、再度処理を実行してください。

◆ 修正No.88

修正箇所	3.4.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ
訂正内容	FCCM-INF004を追加

旧記事

なし。

新記事

[FCCM-INF004] 持出し可能時間外です。ファイル持出しは行えません。

[原因]

持出しユーティリティで持出し可能時間外のポリシーが設定されています。

[対処]

持出しユーティリティを使用できるポリシーへの変更を管理者に依頼してください。

◆ 修正No.89

修正箇所	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR004)の可変情報を修正

旧記事

[I401-ERR004] InstConf.iniから%sの値を読み込めませんでした。再度インストールを行ってください。インストールを中止します。

[可変情報]

%s ：読み込みに失敗した以下のいずれかのセクション名

- SvIPAddress
- SvIPAddress2
- CommPort
- SendPort
- SendPort2
- Password
- LogDirectory
- ClientDirectory
- PrinterMode

[原因]

InstConf.iniに記述する%sを読込めません。

[対処]

InstConf.iniファイルのパス、内容を確認してください。

新記事

[I401-ERR004] InstConf.iniから%sの値を読み込めませんでした。再度インストールを行ってください。インストールを中止します。

[可変情報]

%s ：読み込みに失敗した以下のいずれかのセクション名

- SvIPAddress
- SvIPAddress2
- CommPort
- SendPort
- SendPort2
- Password
- LogDirectory
- RebootAfterInstall
- ClientDirectory
- PrinterMode
- MailSendWatchPort
- MailAttachDeterrentMode
- MailAttachDeterrentPort
- MailAttachDeterrentPort2

[原因]

InstConf.iniに記述する%sを読込めません。

[対処]

InstConf.iniファイルのパス、内容を確認してください。

◆ 修正No.90

修正箇所	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR005)の可変情報を修正

旧記事

[I401-ERR005] InstConf.iniファイルの中の、%sの値が正しくありません。正しい値を記述してください。インストールを中止します。

[可変情報]

%s ：値に誤りがある以下のいずれかのセクション名

- SvIPAddress
- SvIPAddress2
- CommPort
- SendPort
- SendPort2
- Password
- LogDirectory
- ClientDirectory
- PrinterMode

[原因]

InstConf.iniに記述する%sの値が正しく記述されていません。

[対処]

InstConf.iniファイルに正しく記述してください。

新記事

[I401-ERR005] InstConf.iniファイルの中の、%sの値が正しくありません。正しい値を記述してください。インストールを中止します。

[可変情報]

%s ：値に誤りがある以下のいずれかのセクション名

- SvIPAddress
- SvIPAddress2
- CommPort
- SendPort
- SendPort2
- Password
- LogDirectory
- RebootAfterInstall
- ClientDirectory
- PrinterMode
- MailSendWatchPort
- MailAttachDeterrentMode
- MailAttachDeterrentPort
- MailAttachDeterrentPort2

[原因]

InstConf.iniに記述する%sの値が正しく記述されていません。

[対処]

InstConf.iniファイルに正しく記述してください。

◆ 修正No.91

修正箇所	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I401-ERR103)の対処を修正

旧記事

[I401-ERR103] コマンドプロンプトの置き換えに失敗しました。システム管理者に連絡してください。

[原因]

コマンドプロンプトのショートカットの置換えに失敗しました。

[対処]

コマンドプロンプトのショートカットのリンク先をWindowsシステムフォルダの「fsw11ej5.exe」に変更してください。

新記事

[I401-ERR103] コマンドプロンプトの置き換えに失敗しました。システム管理者に連絡してください。

[原因]

コマンドプロンプトのショートカットの置換えに失敗しました。

[対処]

コマンドプロンプトのショートカットのリンク先をWindowsシステムフォルダの「fsw41ej1.exe」に変更してください。

◆ 修正No.92

修正箇所	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I411-ERR004)の原因を修正

旧記事

[I411-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]
IPアドレスを入力せずに次の画面に進もうとしました。

[対処]
正しい書式のIPアドレスを入力してください。

新記事

[I411-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

[原因]
IPアドレスの書式が正しくありません。

[対処]
正しい書式のIPアドレスを入力してください。

◆ 修正No.93

修正箇所	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I401-WRN001)を追加

旧記事

なし。

新記事

[I401-WRN001] ログ格納フォルダのドライブが抑止ドライブとして指定された場合、ログが正常に採取できない可能性があります。
OSインストールドライブのフォルダを指定することを推奨します。
続行しますか？

[原因]
ログ格納フォルダとして、OSインストールドライブ以外のドライブを指定した場合に表示されます。

[対処]
ログ格納フォルダにはOSインストールドライブのフォルダを指定することを推奨します。

◆ 修正No.94

修正箇所	3.5.1 インストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	Citrix Presentation Server監視機能のインストール時に出力されるメッセージ(I401-WRN002)を追加

旧記事

なし。

新記事

[I401-WRN002] 現在インストールされているクライアントに対して上書きインストールを実施する場合、再起動するまで一部の機能が動作しません。
インストール完了後は速やかに再起動してください。

[原因]

V13.2.1のクライアントに対して上書きインストールを実施した場合に表示されます。

[対処]

上書きインストール完了後は速やかに再起動を実施してください。

◆ 修正No.95

修正箇所	3.5.2 アンインストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	Citrix Presentation Server監視機能のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR103)を修正

旧記事

[I402-ERR103] Systemwalker Desktop Keeper のサービスを停止することができませんでした。システム管理者に連絡してください。アンインストールを中止します。

[原因]

アンインストール時、Citrix Presentation Server監視機能のサービスを停止できません。

[対処]

サービスが無応答状態になっている場合などに発生します。再起動したのちに、再度アンインストールしてください。

新記事

[I402-ERR103] Systemwalker Desktop Keeper のサービスを停止することができませんでした。アンインストールを中止します。

[原因]

アンインストール時、Citrix Presentation Server監視機能のサービスを停止できません。

[対処]

サービスが無応答状態になっている場合などに発生します。再起動したのちに、再度アンインストールしてください。

◆ 修正No.96

修正箇所	3.5.2 アンインストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	Citrix Presentation Server監視機能のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR105)を追加

旧記事

なし。

新記事

[I402-ERR105] コマンドラインで指定したパラメータの書式が正しくありません。正しい書式で記述してください。
ex. > Setup.exe /Silent "Password:[password],Reboot:1"
アンインストールを中止します。

[原因]
パラメータの書式が正しくありません。

[対処]
パラメータの書式を正しく記述してください。

◆ 修正No.97

修正箇所	3.5.2 アンインストール時に出力されるメッセージ
訂正内容	Citrix Presentation Server監視機能のアンインストール時に出力されるメッセージ(I402-ERR106)を追加

旧記事

なし。

新記事

[I402-ERR106] コマンドラインからパラメタを読込めませんでした。パラメタを確認後、再度アンインストールを行ってください。アンインストールを中止します。

[原因]

コマンドラインからパラメタを読み込めませんでした。

[対処]

パラメタを確認後、再度アンインストールしてください。

◆ 修正No.98

修正箇所	第5章 管理コンソール/ログビューア使用時のエラー対処
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

■サーバサービスエラー

◆データベースエラー

- サーバサービスがインストールされている統合管理サーバまたは管理サーバのC:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに「fsw21sj0_SQLError.log」ファイルが作成されている。
  （環境によってはC:¥Documents and Settings¥All Users.WINNT¥Application Data¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに作成される場合があります。）
  Windows Vistaの場合は、C:¥ProgramData¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに「fsw21sj0_SQLError.log」ファイルが作成されている。

新記事

■サーバサービスエラー

◆データベースエラー

- サーバサービスがインストールされている統合管理サーバまたは管理サーバのC:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに「fsw21sj0_SQLError.log」ファイルが作成されている。
  （環境によってはC:¥Documents and Settings¥All Users.WINNT¥Application Data¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに作成される場合があります。）
  Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合は、C:¥ProgramData¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに「fsw21sj0_SQLError.log」ファイルが作成されている。

◆ 修正No.99

修正箇所	第5章 管理コンソール/ログビューア使用時のエラー対処
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

■階層化サービスエラー

◆データベースエラー

- 統合管理サーバまたは管理サーバのC:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに「fsw21sj1_SQLError.log」ファイルが作成されている。
  （環境によってはC:¥Documents and Settings¥All Users.WINNT¥Application Data¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに作成される場合があります。）
  Windows Vistaの場合は、C:¥ProgramData¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに「fsw21sj0_SQLError.log」ファイルが作成されている。

新記事

■階層化サービスエラー

◆データベースエラー

- 統合管理サーバまたは管理サーバのC:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに「fsw21sj1_SQLError.log」ファイルが作成されている。
  （環境によってはC:¥Documents and Settings¥All Users.WINNT¥Application Data¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに作成される場合があります。）
  Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合は、C:¥ProgramData¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperに「fsw21sj0_SQLError.log」ファイルが作成されている。

◆ 修正No.100

修正箇所	6.2 管理コンソールトレースを採取する
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

【Windows Vista(R)の場合】
[OSインストールドライブ]¥ProgramData¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperにファイルが作成・更新されます。

新記事

【Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合】
[OSインストールドライブ]¥ProgramData¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperにファイルが作成・更新されます。

◆ 修正No.101

修正箇所	6.3 ログビューアトレースを採取する
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

【Windows Vista(R)の場合】

C:¥ProgramData¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperにファイルが作成・更新されます。

新記事

【Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合】

C:¥ProgramData¥Fujitsu¥Systemwalker Desktop Keeperにファイルが作成・更新されます。

◆ 修正No.102

修正箇所	6.9 資料採取ツールを使用する
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

- ワトソンログ・ミニダンプ
  アプリケーションエラー発生時の調査用に用います。
  ワトソンログは、Windows Vista(R)では取得されません。
  ミニダンプは、発生から72時間以内のダンプのみを取得します。

新記事

- ワトソンログ・ミニダンプ
  アプリケーションエラー発生時の調査用に用います。
  ワトソンログは、Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008では取得されません。
  ミニダンプは、発生から72時間以内のダンプのみを取得します。

◆ 修正No.103

修正箇所	6.9 資料採取ツールを使用する
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

■管理サーバ上またはクライアント(CT)上で、コマンド(dtk_qss.exe)を実行する

2. Dtk_qss.exeを実行します。
   - Windows Vista(R)以外のOSの場合
     Dtk_qss.exeをダブルクリックしてください。以下の画面が表示されますので、"Y"を押してください。

新記事

■管理サーバ上またはクライアント(CT)上で、コマンド(dtk_qss.exe)を実行する

2. Dtk_qss.exeを実行します。
   - Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008以外のOSの場合
     Dtk_qss.exeをダブルクリックしてください。以下の画面が表示されますので、"Y"を押してください。

◆ 修正No.104

修正箇所	6.9 資料採取ツールを使用する
訂正内容	Windows Server(R) 2008を追加

旧記事

■管理サーバ上またはクライアント(CT)上で、コマンド(dtk_qss.exe)を実行する

- Windows Vista(R)の場合
  a- Dtk_qss.exeを右クリックして[管理者として実行]を選択します。
  b- 「ユーザ アカウント制御」の警告画面が表示されますので、"許可"を選択してください。
  続いて、以下の画面が表示されますので、"Y"を押してください。

新記事

■管理サーバ上またはクライアント(CT)上で、コマンド(dtk_qss.exe)を実行する

- Windows Vista(R)またはWindows Server(R) 2008の場合
  a- Dtk_qss.exeを右クリックして[管理者として実行]を選択します。
  b- 「ユーザ アカウント制御」の警告画面が表示されますので、"許可"を選択してください。
  続いて、以下の画面が表示されますので、"Y"を押してください。